

# 川口高校進路だより

## ミ・チ・シ・ル・ベ

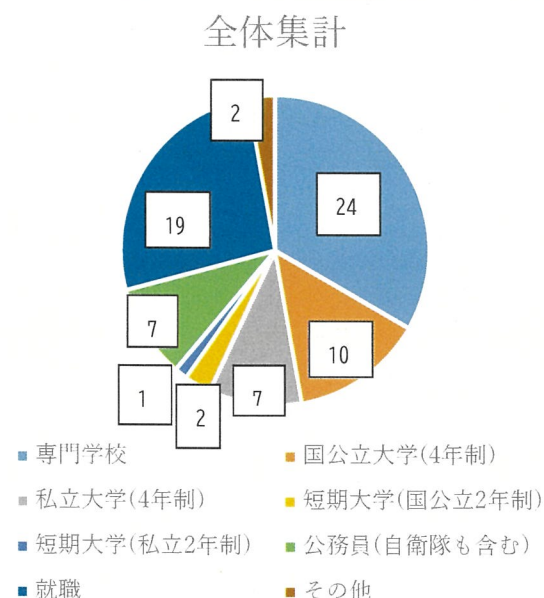
川口高校進路指導部  
第3号  
令和7年8月20日

### 第2回「進路希望調査」結果



7月に実施された、第2回進路希望調査の結果です。前回の結果と同様、進学希望者が多いことがわかります。自分の興味関心や得意・不得意を整理し、将来どうなりたいかについてよく考えておくことが大切です。1日1日の学校生活を大切に過ごしましょう。

全国的な傾向として、進学志向が強く約68.8%が進学希望というデータもあります。大学は、「学問の基礎と応用を学ぶ」ところです。一方で専門学校は「職業に直結したスキルを学ぶ」ところです。今の自分にはどちらが合っているのか、じっくりと思索しましょう。



### 2学期の過ごし方

#### 1. 進路の選択肢を広げる

自己分析をし、興味のある職業や学校を調べましょう。進路説明会やオープンキャンパスにも参加して、実際の情報を集めることが大切です。

#### 2. 学業の管理

定期テストに向けてしっかりと勉強し、苦手科目には早めに取り組みましょう。成績は進路選びに影響を与えるため、計画的に学習しましょう。

#### 3. バランスをとる

勉強だけでなく、友人との時間や趣味の時間も大切にしましょう。無理なく学習とリフレッシュを両立させることが重要です。

#### 4. 情報収集

進路についての情報を集め、選択肢を増やしていきましょう。先生に相談するのも有効です。

#### 5. 心の準備

進路についての不安は誰にでもあります。前向きな気持ちで少しずつ準備を進めましょう。

#### 6. 進路指導室を活用

迷ったときは、早めに進路指導の先生に相談し、新しい視点を得ることが大切です。



第3回 星 勇輔 先生



「進路を決めるってどういうこと？ ～進学・就職の“軸”を考えよう～」

普段、なんとなく高校生活を送っていても、「進路をどうするか」という問いが少しずつ、現実味を帯びてきます。大学？短大？専門学校？就職？…自分が何に向いているのか、何をしたいのか、まだはっきりしない人も多いかと思います。そんなときに大切になるのが、「自分なりの判断基準」を持つことです。(ここでの判断基準というのは、価値観や適性などのことです。)

世の中にはたくさんの選択肢があります。そして、先生や進路行事でいらっしゃる講師の方々、保護者、友達などアドバイスをくれる人はたくさんいます。もちろん、それらの意見はとても参考になります。しかし、最後に進路を決めるのは自分自身です。他人の価値観ではなく、自分の中にある「大事にしたいこと」「心が動くこと」などを見つけることが、後悔しない選択につながります。

例えば、「安定した職業に就きたい」と思う人もいれば、「好きなことを仕事にしたい」と思う人もいます。他にも、「多くの人と関わるのが好き」なのか、「1人で集中する方が得意」なのか。あなたはどちらに近いですか？それとも、まだピンと来ませんか？そうした自分の特徴を理解することが、進路を考えるヒントになるはずです。

判断基準はすぐに見つかるものではありません。勉強や部活、ボランティア活動、趣味など、多くの経験を通して、「これは自分に向いているかも」「これはちょっと違うかも」と感じることの積み重ねが、自分なりの判断基準を創り上げていくのです。

最後に、迷うことは悪いことではありません。むしろ、真剣に考えている証拠です。迷いながら、回り道をしながらでもいい、自分の意志で前に進んでいけるように、「自分は何を大事にしたいのか？」という問いを大切にしてみてください。

### 進路関係の予定(9月)



|          |                   |
|----------|-------------------|
| 9月13日(土) | ベネッセ駿台共通テスト模試(3年) |
| 24日(水)   | 就職ガイダンス⑤⑥(1年)     |
| 25日(木)   | 社会人講話①～④(1年)      |

